

2025-2026 硬式野球部 部活動紹介資料



神奈川県立追浜高等学校
硬式野球部



追浜高校野球部の概要

活動日・活動時間

- ・ 平日：16時10分～18時30分
- ・ 週末：練習試合（3月～11月）、練習（12月～2月）
- ・ 休養日：毎週月曜日は完全オフ（年末年始は長期オフ）

部員数

- ・ 合計42名（選手38名、マネジャー4名）
- ・ 3年生（62期）：選手8名、マネジャー2名
- ・ 2年生（63期）：選手10名
- ・ 1年生（64期）：選手20名、マネジャー2名

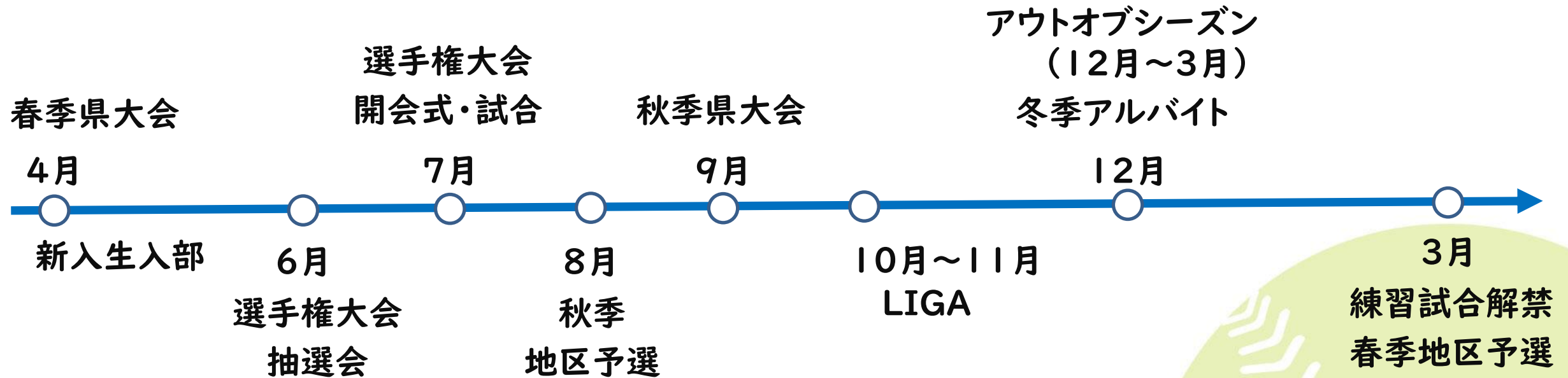
出身中学校・チーム

- ・ 富岡中、汐見台中、田浦中、不入斗中、長沢中、浦賀中、長井中、坂本中、共進中、池上中、金沢中、蒔田中、鎌倉第一中、南中、南郷中、腰越中、衣笠中、大津中、三崎中、南が丘中、馬堀中、大道中、六浦中、大矢部中、富岡東中、久木中、浦島丘中
- ・ 横須賀三浦リトルシニア、横須賀クラブ、若竹ライナー、横須賀ファイターズ、横須賀スターズ、逗子リトルシニア

年間スケジュール

年間の活動スケジュールは下記の通り。

公式戦は、3回あり、春季大会が3月～4月、夏季大会が7月、秋季大会が8月～9月に開催されます。



追浜高校野球部の目指すところ

野球は「勝つことを目的とするスポーツ*」であり、本校野球部は常に勝ちを目指したチーム作りをしています。一方で、部活動であることから、野球部に関係する人々（保護者、学校関係者、近隣の人々）から常に応援されるチーム（人）であることを目指しています。

*公認野球規則【1.05】各チームは、相手より多くの得点を記録して、勝つことを目的とする。

勝てるチーム
(=トップアスリートの集合体)



応援されるチーム
(=応援される人の集合体)



追浜高校野球部の目指すところ

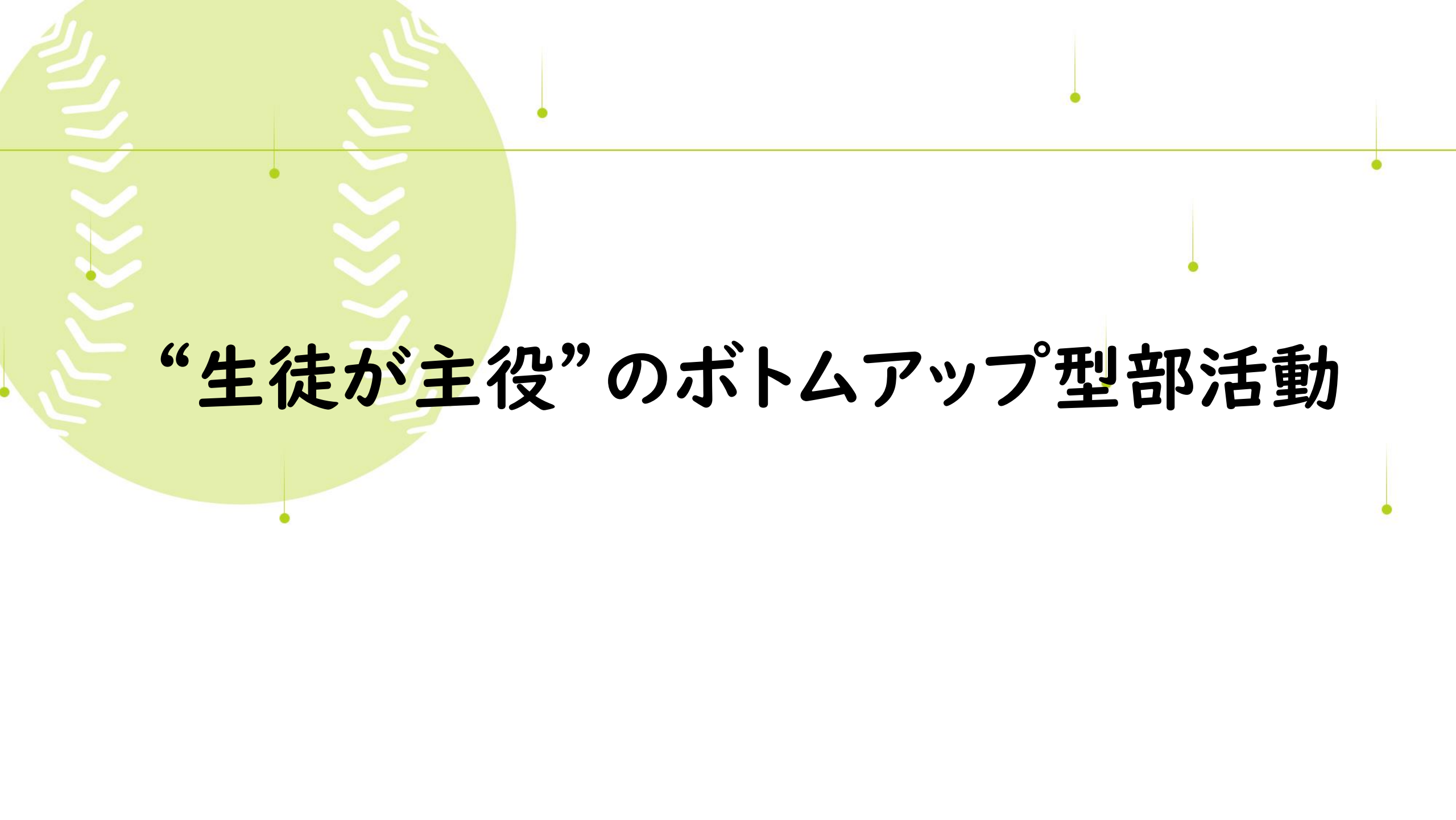
追浜高校野球部の最大の特徴

“生徒が主役”の ボトムアップ型部活動

- “やらされている”感を脱却し、部員の主体性を育成
- ボトムアップ型の意思決定を体験し、将来のリーダーを育成
- “全員が主役”になれる部内の組織づくり

“勝てるチーム”への環境づくり

- 屈指の恵まれたグラウンド環境
- 豊富な野球/トレーニンググッズ
- 外部指導者による最先端の野球技術指導
- メディカルトレーナーによる丁寧なケア



“生徒が主役”のボトムアップ型部活動

部活動を通じて育てたい人物像

応援される
チーム(人)

経済産業省が定義している「社会人基礎力」のうち、本校野球部では、前に踏み出す力の「主体性」の育成に特に力を注いでいます。誰かの指示を待つのではなく、自ら考え“自分から歩みを進める力”の育成を目指す。

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

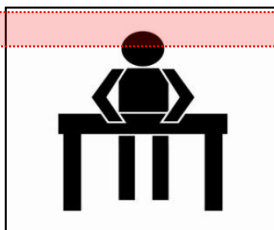
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

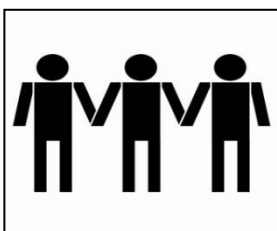
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

「主体性」の
育成に注力

チームで働く力 (チームワーク)



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

将来のリーダー育成へ

ボトムアップ型・部活動運営の取り組み

勝てる
チーム

応援される
チーム(人)

「主体性」の育成を実現するべく、追浜高校野球部では“ボトムアップ型”部活動運営を採用しています。校訓である「独立自主」の実現に向け、本校野球部は“部員自らが考えて行動する”ことを追求します。

ボトムアップ型・運営の一例

練習メニュー作成・実施

- ・ チーム全体、個人という異なる視点で、課題に目を向け、必要な練習メニューを作成・実施している。

背番号投票

- ・ 練習試合の結果、練習への取り組み等に鑑み、部員全員が背番号投票を実施し、その結果を基にキャプテン、副キャプテンの幹部が試合の背番号を決定している。

試合メンバー選考

- ・ 公式戦、練習試合問わず、試合のメンバー選考（打順・ポジション等）は、戦術チームと幹部が決定している。

試合中のサイン発出

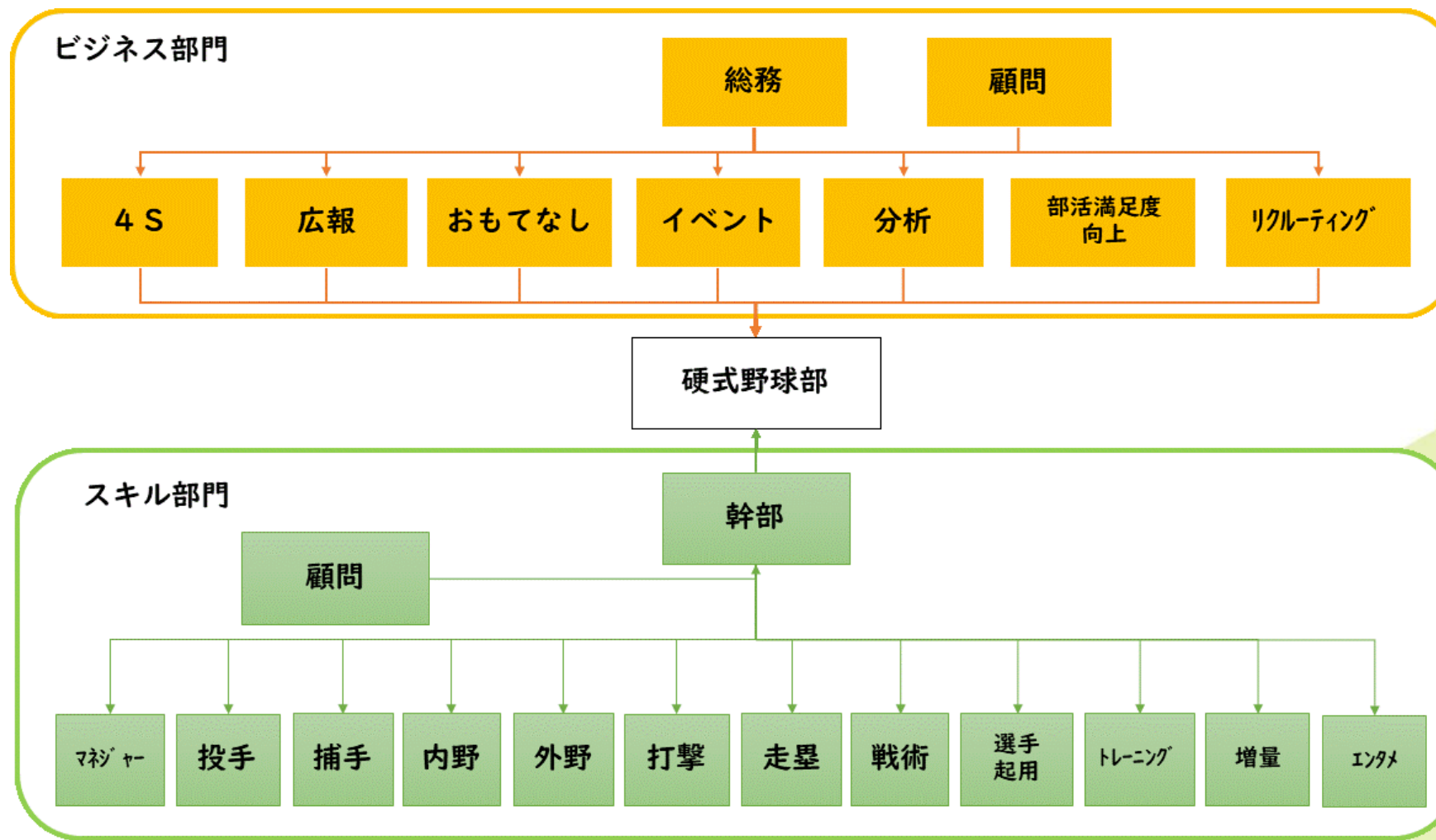
- ・ 試合中の戦術のサインも、生徒が考え、発出している。「勝つ」ためには、どんな戦術が必要か、選手は常に考え、野球を理解した上で、必要な戦術などを練習内容に反映させている。

“全員が主役”になれる部内の組織づくり

勝てる
チーム

応援される
チーム(人)

部内に2種類の組織を設置しています。野球技術向上を目指した“スキル部門”と野球部を魅力的にするための“ビジネス部門”を設置し、各部門のリーダーがそれぞれの部門を運営しています。



現チーム（62期・63期・64期生）・スローガン

勝てる
チーム

応援される
チーム(人)

『凡事徹底～徹底こそ最強の武器～』

ボトムアップ野球は、大人（顧問）が介入せずに、部員だけで部活動運営を行うことを目指しており、大人がいなくても毎日良い練習を行う、また良い組織を作るためには、部員自身の『自律』が非常に大切であり、そのためには、“当たり前のことを圧倒的に当たりのレベルで取り組む”ようにすること、つまり「徹底こそ最強の武器」が自分たちのチームを最も強くするための方法だとして、部員たちがスローガンを決めて毎日徹底して部活動を進めています。

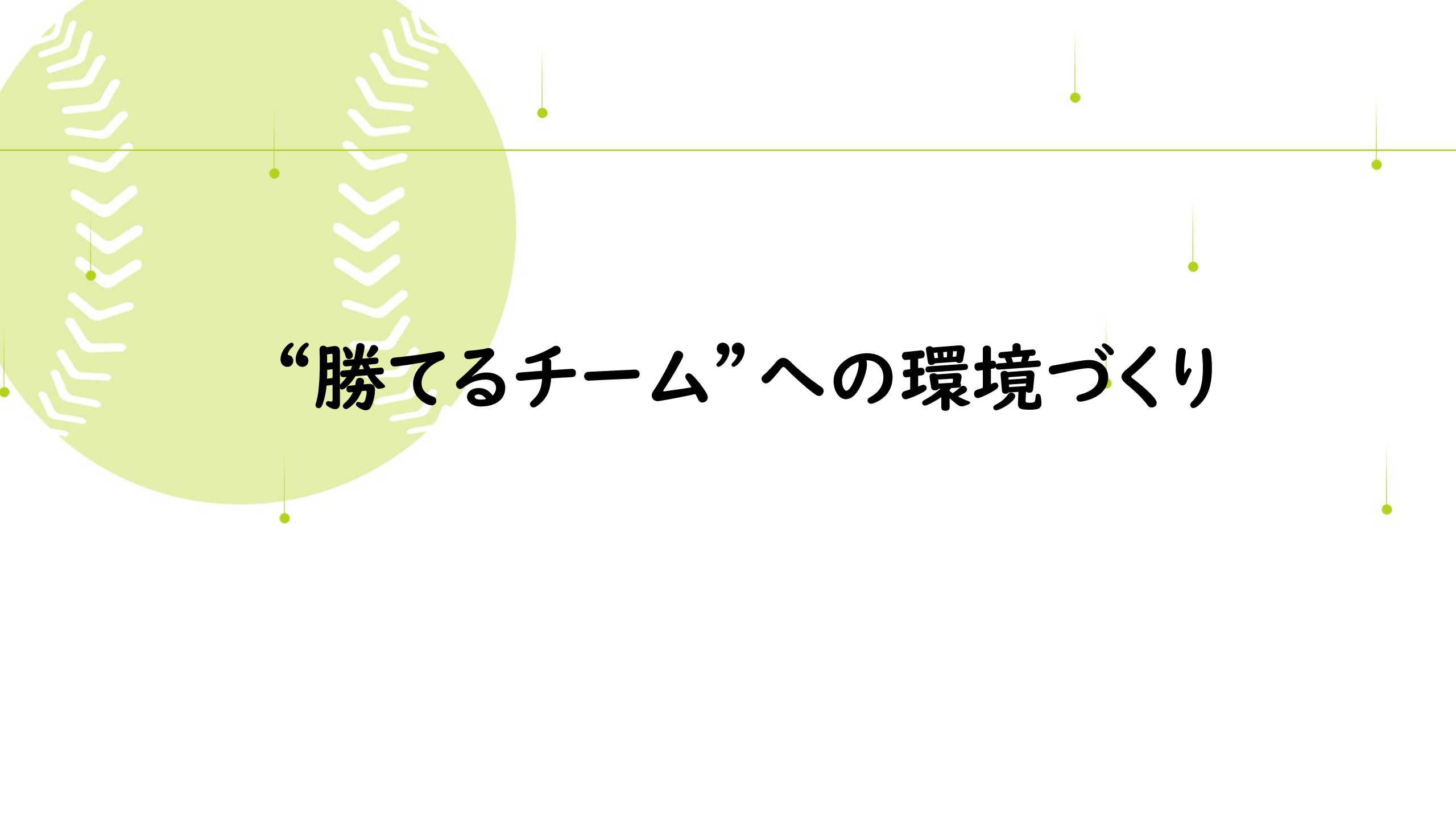
スローガンに基づく行動目標

部活動内

- ・ 校訓の一つである「独立自主」を達成するために自分たちで部活動を運営する！
- ・ 自分から率先して気づき、そして動く！
- ・ 部内ルール（時間厳守、整理整頓、部室清掃、挨拶やレスポンス（返答・応答）等）の徹底

部活動外

- ・ 学習計画手帳「スポンタ」を使いこなし、高いレベルで「文武両道」を達成する！
- ・ 時間厳守
- ・ 挨拶／掃除励行



“勝てるチーム”への環境づくり

“勝てるチーム”への環境づくり

勝てる
チーム

“勝てるチーム(＝トップアスリートの集合体)”に向けて、選手が成長する環境が本校野球部にはあります。選手個人の能力を伸ばすために、追浜高校野球部は公立高校では屈指の環境であると自負しています。

豊富な野球・トレーニンググッズ

ラプソード(投手・打撃)が完備しており、投手・打者ともに感覚に頼らず、多彩なデータを活用してレベルアップが可能！
ハイスピードカメラがあり、投手のリリース部分の改善が可能！
またウォーターボール、置きティーなど、動きの改善に必要なドリル用のグッズが豊富にあり、県内公立高校では屈指の環境です。

最先端の野球技術指導を享受

MLB&NPB100名以上のトレーニングコーチ経験を有する林泰祐トレーナーに2023年10月から月に1度チームで指導を仰いでいます。
日本と米国の良い点を組み合わせたハイブリッド指導をバッティング、ピッチング、トレーニングの各観点で指導を受け、様々なドリルを繰り返すことで、選手は大きく成長中です。

屈指の恵まれたグラウンド環境

(左翼94m,中堅120m,右翼94m)
平日もグラウンド練習が可能！
ナイター設備完備、バッティングマシン2台有り。

屈指の恵まれたグラウンド環境

勝てる
チーム

県内屈指のグラウンドの大きさを誇っています。平日も他部活が活動しても、グラウンド練習が可能です。
またナイター設備が完備され、日没が早い時期もバッティング練習ができます。バッティングマシンが2台有ります。



参照: Google Map



ナイター設備も完備し
日没が早い時期でも
ボールを使った
練習が可能です！

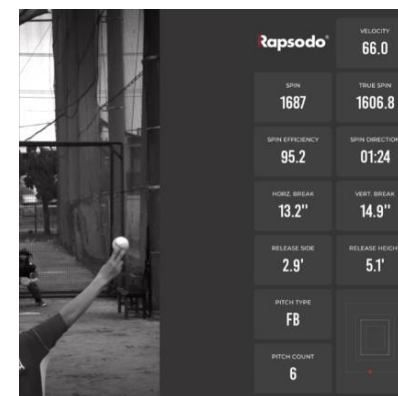
マシン2台、うち1台は
3連ローターのため、
安定感抜群。
140km/hでも
安心して打撃練習が
可能です。



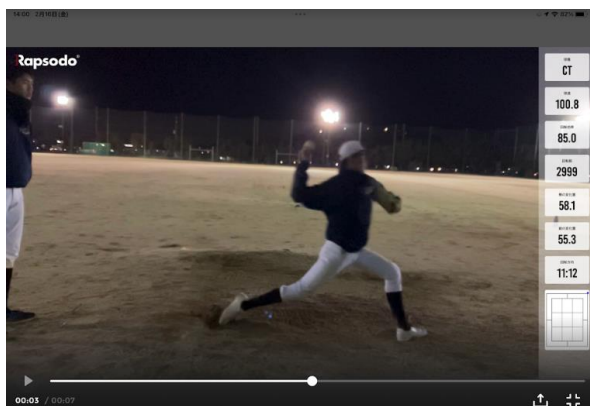
豊富な野球・トレーニンググッズ

勝てる
チーム

ラプソード（投手・打撃）が完備しており、投手・打者ともに感覚に頼らず、多彩なデータを活用してレベルアップが可能！
ハイスピードカメラがあり、投手のリリース部分の改善が可能！
またウォーターボール、置きティーなど、動きの改善に必要なドリル用のグッズが豊富にあり、県内公立高校では屈指の環境です。



ハイスピードカメラで
投手のリリース部分の
改善が可能！



外部指導者による最先端の野球技術指導

勝てる
チーム

MLB&NPB 100名以上のトレーニングコーチ経験を有する林泰祐トレーナーに2023年10月から月に1度チームで指導を仰いでいます。日本と米国の良い点を組み合わせたハイブリッド指導をバッティング、ピッチング、トレーニングの各観点で指導を受け、様々なドリルを繰り返すことで、選手はカラダの使い方を改善し、技術的に大きく成長しています。

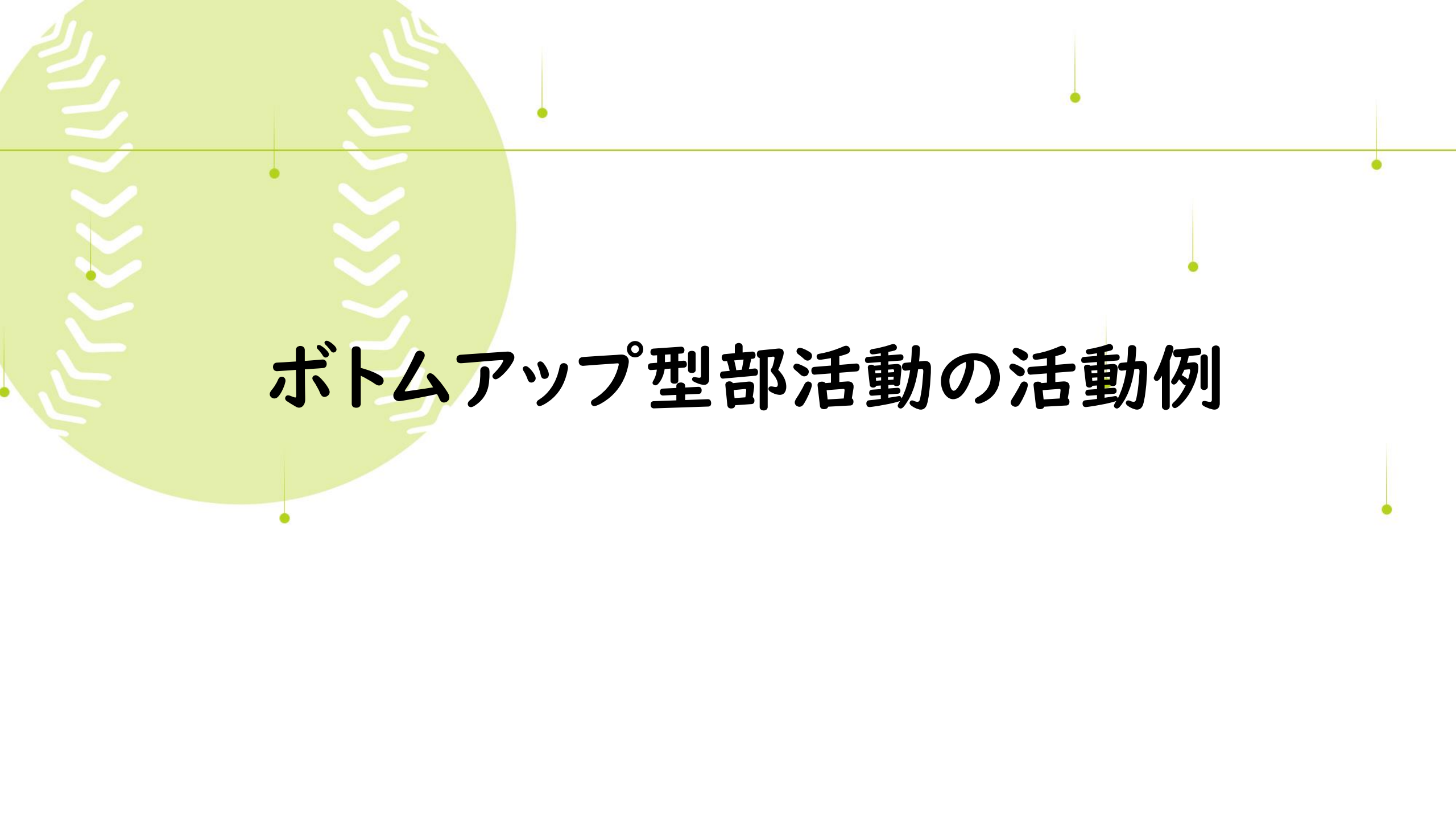


メディカルトレーナーによる丁寧なケア

勝てる
チーム

2024年11月から週に1度以上、メディカルトレーナーの田所さんを招待し、選手のカラダのケアをお願いしています。痛みを感じる部分のケアに加えて、同じ症状にならないようにするためのエクササイズやストレッチの指導を受けています。ケガがないことが一番ですが、ケガをしてもケアをしてもらえることは安心感につながります。





ボトムアップ型部活動の活動例

活動例：野球人口を増やす取り組み

応援される
チーム(人)

ビジネス部門：イベントチームが企画し、2024年から1年に1度、本校で野球部主催の「少年野球教室」を開催しています。ターゲットを小学4年生、5年生に絞り、打撃練習や試合形式の練習を通じて本校部員と小学生が交流しています。参加した小学生が野球を楽しいと感じ、今後も野球を続けてくれると大変うれしいです。この活動を通じて、イベントチームは、“0から1を生み出す大変さ”を体験しています。



活動例：野球人口を増やす取り組み

応援される
チーム(人)

2024年2月4日にベイスターズの2軍施設DOCKにて高野連主催の「野球で遊ぼう2024」が開催され、本校野球部はチーム全体でサポート校として参加しました。また2024年6月2日に横須賀スタジアムで開催される中体連主催の「スカスタB-PARK」に参加し、未就学児や野球未経験の小学生の野球体験をサポートしました。



活動例：LIGA Agresiva神奈川に参戦中

勝てる
チーム

神奈川の高校野球の公式戦は、春季大会3月末～4月、夏季大会7月初旬～下旬、秋季大会8月中旬～9月となっており、10月以降に真剣勝負の機会が減少してしまいます。そこで真剣勝負の機会を求めて、2023年よりLIGA Agresiva神奈川に参戦し、ボトムアップ型の野球を磨いています。

LIGAのメリット（部員のコメント）

- 10月以降に真剣勝負の機会が与えられた。
- リーグ戦のため、失敗を許容でき、思い切ったチャレンジができた。
- スポーツマンシップ講座を受講し、対戦するチームは「敵」ではなく、お互いを高め合う「仲間」という認識が高まった。
- スポーツマンシップ講座の受講後は、相手チームや審判さんといった野球に関わる方々にこれまで以上に敬意を払うことができるようになった。
- アフターマッチファンクション（試合後の交流会）を実施することで、情報交換が可能となり、自分たちのレベルアップの引き出しが増えた。また友人ができた。

2025年LIGA・神奈川 参加校
【Sリーグ】
横浜翠陵、慶應義塾、川崎北、市ヶ尾、桜丘、
希望ヶ丘
【Aリーグ】
海老名、追浜、川和、西湘、大和
【Vリーグ】
厚木、横須賀、麻布大附、慶應義塾、市ヶ尾

活動例：練習にエンタメ要素を取り入れる！

勝てる
チーム

スキル部門：エンタメチームが、サッカー、キックベース、BBQやプールといった“エンタメ”を企画して練習に取り入れています。強くなるには、部員間の親睦を深めることが大切という観点から、リフレッシュもかねて月に1度程度はエンタメ実践中です。



上段の写真はサッカーの様子、下段の写真は、キックベースの様子です。学年問わず、部員間の仲はとても良いです！

活動例：地域清掃（追浜駅前商店街）

応援される
チーム(人)

ビジネス部門：4S（整理・整頓・清掃・整備）チームが企画し、月に1度追浜駅前商店街から学校までの通学路を清掃活動を行っています。この活動を通じて、4Sチームは人をリードすることを実践しています。



地域清掃に関する部員の感想

- 街行く人たちに感謝を伝えられてすごくうれしかった。
- 通学路がキレイになると気持ちがいい！これからも定期的に継続したい。

活動例：練習試合/合同練習後に“Thank You Letter”の送付

応援される
チーム(人)

ビジネス部門：おもてなしチームが企画し、練習試合/合同練習後に相手校に対して、“Thank You Letter”の送付を行っています。各部員が相手校に感じた印象をハガキで伝えています。“おもてなし”を通じて、相手に配慮すること、感謝することを部員は学んでいます。

先日は練習試合をして下さりありがとうございました。
貴校野球部は全員が強いスイングをしていて本校の大事にしているスイングスピードという面で学ぶべき点だと思いました。また機会がありましたら練習試合などよろしくお願いします。

先日は練習試合ありがとうございました。
貴校は打撃において逆方向への長打もあり
広角に安打を打っており見習うべき点だと思
いました。
更に本でこの繋ぎがていつかていえるこ
れからも引き続きます。
また機会がありましたら練習試合や
合同練習もお願いします。
文責 島村

先日は練習試合をしていただき、
誠にありがとうございました。
貴校野球部の一人一人のスイングの強さ、
思い切り良さとして、本塁の場面での粘り強
いスイングなど、見習うべき点が多かったです。
また、機会がございましたら、練習試合を
ご一緒できればと思います。
どうぞよろしくお願い致します。
文責 河合

先日は練習試合をして下さりありがとうございました。
貴校野球部は全員が強いスイングをして
いて本校の大事にしているスイングの強さ
という面でもお勉強を受けました。また機会
がございましたら練習試合などよろしくお願
いします。
文責 河合



先日はリーグでの試合、ありがとうございました。
貴校は、フタケの時点から一休感が生ま
れており、野球に打てる意識がとて
高いため、大いに感じました。そのような
点も本校でも、学んでいきたいと思いま
した。また機会がございましたら練習試合
などよろしくお願ひします。

先日は強化練習会での試合、ありがとうございました。
貴校はバッティングにおいて、右打者の強い打
球が多く、お手本にできていた点にたい所がた
くさんありました。更にチャンス場面での盛り
上がりも迫力がありました。次の試合も引き続
き頑張ってください。また機会がございましたら練
習試合や合同練習もお願いします。

貴校は、出塁をしたときにランナーのプレーが
かすくあり戦いづらかったです。
また、とてもインニング間が短いのが印象的
な流れが貴校に傾きやすいかと思ひました
練習試合を経てたくさん人の学びを
得ました。次回また練習試合をするとき
ありますらよろしくお願ひします。
文責 谷口司

文責 金子

先日は練習試合ありがとうございました。
貴校はスイングがとても強く、守備の際にもアレ
ジャイがかなり、見習うべき点が多かったです。
更に、プレバーストメンから表面気
がとて、盛り上がり試合の中でも一つのプレーに
対しての盛り上がり、学ばがとて多かったです。
次の合同練習もよろしくお願ひします。

先日は練習試合をしていただき
ありがとうございました。
貴校は、バッティングの意識が
非常に高く右にも左にも強い
打球が打っていたのがとても
学ばべき点だと思いました。
また機会がございましたら練習
試合などをよろしくお願ひします。
文責 岩本

文責 立川

先日は練習試合ありがとうございました。
貴校は、一つのプレーでの盛り上がりがあり、
全員が野球を愛している様子が感じ、
その他にもたくさん学ぶべき点がありました。
次、お会いする月の全員練習でお世話に
なりますが、よろしくお願ひします。

文責 金子

活動例：各種イベントの企画・実施

応援される
チーム(人)

ビジネス部門：イベントチームが様々なイベントを企画・実施しています。
イベントを通じて、様々な人たちと触れ合い、感謝を伝える機会を作っています。

一昨年の文化祭では
津久井浜高校をお招きし
招待試合を実施しました。

文化祭企画
招待試合



12月には、クリスマス会を
開催し、サッカー、学校内
鬼ごっこをして体を温め、
プレゼント交換やケーキを
食べて盛り上がりました。

クリスマス会



毎年OB会から金銭的
支援を受けており、
その感謝を込めて、
6月にOB会を開催し、
ソフトボール等で交流を
深めました。

OB会



卒業する野球部の先輩に
最後に楽しい思い出を
残してもらうために
楽しいイベントを
企画・実施しました。

3年生送別会



春季大会付近に
サポートしてくれる
保護者の方に感謝を
伝えるために
楽しいイベントを
企画・実施しました。

保護者ソフト
ボール大会



活動例：定期的なフォローアップミーティングの実施

勝てる
チーム

幹部（キャプテン・副キャプテン）が練習の終わりにミーティングを運営し、曜日ごとに自分たちで決めたことを自分たちでフォローアップする仕組みがあります。幹部はリーダーシップを日々学んで実践しています。

Tuesday

目標設定と
行動計画の確認

毎月作成している目標シートと行動目標、特にその週に取り組む内容を数名でお互いに確認し合う。

Wednesday

ビジネス部門の
現状確認

各部門の現状の確認と今後取り組みたいこと、進め方を数名で確認し合う。

Thursday

スキル部門の
現状確認

各部門の現状の確認と今後取り組みたいこと、進め方を数名で確認し合う。

Friday

週末の
目標確認

シーズン中は、試合の戦い方、メンバー選考、戦術を確認する。チームスローガンに基づいた行動ができているか、周囲で話し合う。

Saturday

その日の
振り返り

その日を振り返り、全体で実施し、全員で共有する。翌日に改善できるような内容にする。

Sunday

その日の
振り返り

その日を振り返り、全体で実施し、全員で共有する。翌週に改善できるような内容にする。

毎月・目標設定シートを記入し、
自分の取り組みを振り返る仕組みがあります。

指導者の横顔



片山英臣（1975年生まれ、奈良県立畝傍高校→大阪市立大学→インディアナ大学大学院）

大学卒業後、シャープ（株）で人事系業務を5年経験し、インディアナ大学でスポーツマネジメントの修士課程を修了。その後、米国ADM社と日本の博報堂スポーツマーケティング（株）でスポーツビジネスに従事。IKEA（株）で人事・経営企画業務を10年経験し、41歳で高校教員に転職。藤沢総合高校で5年間野球部顧問として勤務後、2022年4月より追浜高校へ異動し、野球部の指導に携わり、現在に至る。

「生徒主体でチーム運営をすることは、私にとっても大きなチャレンジです。勝ちを求めながら、選手の人間的な成長を求めるこの取り組みを部員には楽しみながら取り組んでほしいと思っています。顧問の役割は、守備、打撃、走塁などの技術指導や考え方の共有、動き方のドリルの紹介、全体練習や戦術練習の実践を通じて、部員に選択肢を提供しています。どの選択肢を選ぶのかは、部員次第です。“与えられる練習”から、“自分で選んだ必要な練習”に移行して技術向上に努めてほしいと考えています。そのプロセスが選手の技術を最も成長させると私は信じています。中学生の方々、追浜高校野球部と一緒に野球をやりましょう！」

その他の指導者

指導者

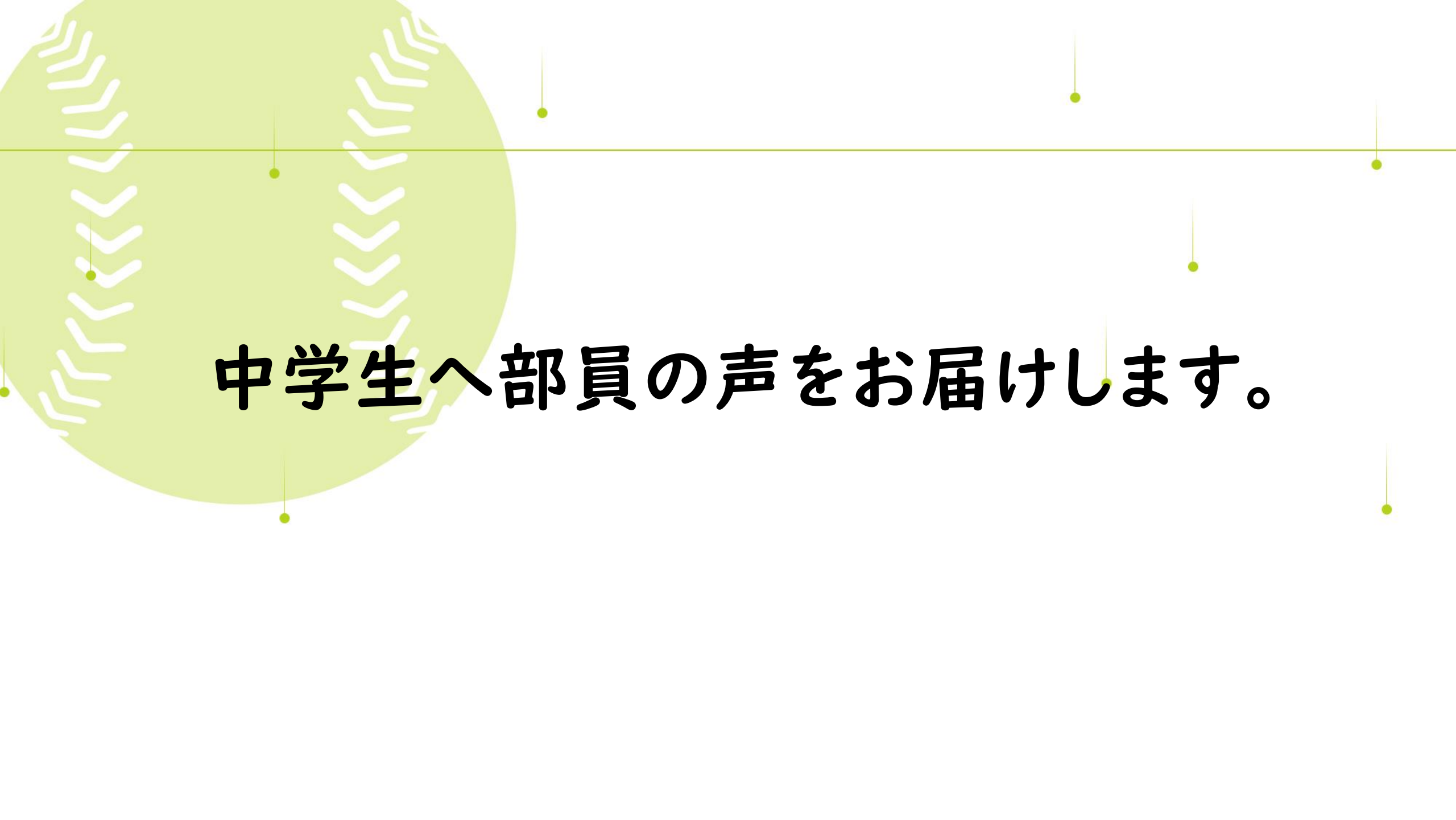
- ・北澤信喜先生
- ・塚本猛先生

外部指導者

- ・林泰祐トレーナー
- ・田所佳樹トレーナー

学生コーチ

- ・柳澤拓



中学生へ部員の声をお届けします。

高校野球の魅力・面白さ(部員アンケートより)

中学時代の野球から高校野球に変わり、部員が感じる高校野球の魅力・面白さをまとめてみました。

高校球児らしい感動と団結がある。夏の大会のブラスバンドとチアの応援。かけがえのない仲間ができる。

チーム一丸となってぶつかり合う。雰囲気や緊張感が面白い。負けたらそこですべてが終わりというところが面白い。

中学で同じだったチームメイトが他の高校で野球をして敵同士になって対決するのは面白い。公立高校で推薦の多い私立高校相手に勝つことに魅力を感じる。

魅力は夏の大会にあると思う。中学校では味わうことの出来ない緊張感や、スタンドからの応援など全てがとても良い刺激になり、高校野球でしか体験することの出来ない貴重な経験になる。

高校野球は注目度がかなり高いです。夏の大会では吹奏楽部、チアダンス部が応援に来てくれて学校全体で野球部を応援してくれます。

魅力は、打球が速くなることです。「自分はどのように練習したら打てるのかな」と考えて練習をし、試合で結果が出るととても面白いです。

体も一段と大きくなってるので打球の大きさや速さ、投手の球速や変化球のキレも良くなってバットイングも高いレベルが求められ、充実して活動ができます。

硬式になったことによりバットイングがとても楽しくなったということです!打感もあり、当たった時にとても気持ちよく、軟式よりもジャストミートした時の飛距離も上がります!

高校によって色が全く違うところ。打撃で点を取るチームもあれば、走塁でチャンスを作るチームなど様々で、学べるのが毎回違うためそこが魅力だと思います。

追浜高校野球部の魅力 (部員アンケートより)

中学時代の野球から高校野球に変わり、追浜高校野球部の魅力をまとめてみました。

追浜高校は独立自主を掲げていて野球部もそれに従って一個人として、成長できるところとして出来るところ。先生と生徒の距離が程よいところ。勉強も部活も両方やる。野球も上手くなれるところ。モチるところ。

居心地が良い。質の良いトレーニングが出来る。明確な目標設定。自分の練習が出来る。自己分析の機会がある。整った設備。

みんな面白いところ。仲がいいところ。先生がわからないところや悩んでるところを聞くとしっかり教えてくれて技術向上出来る。ところ。

部活動の運営を部員主体で行っていながら、秋も春も地区予選を勝ちあがり、県大会に出場しているところ。練習にエンタメを取り入れて、部員たちで楽しめる。ところ。

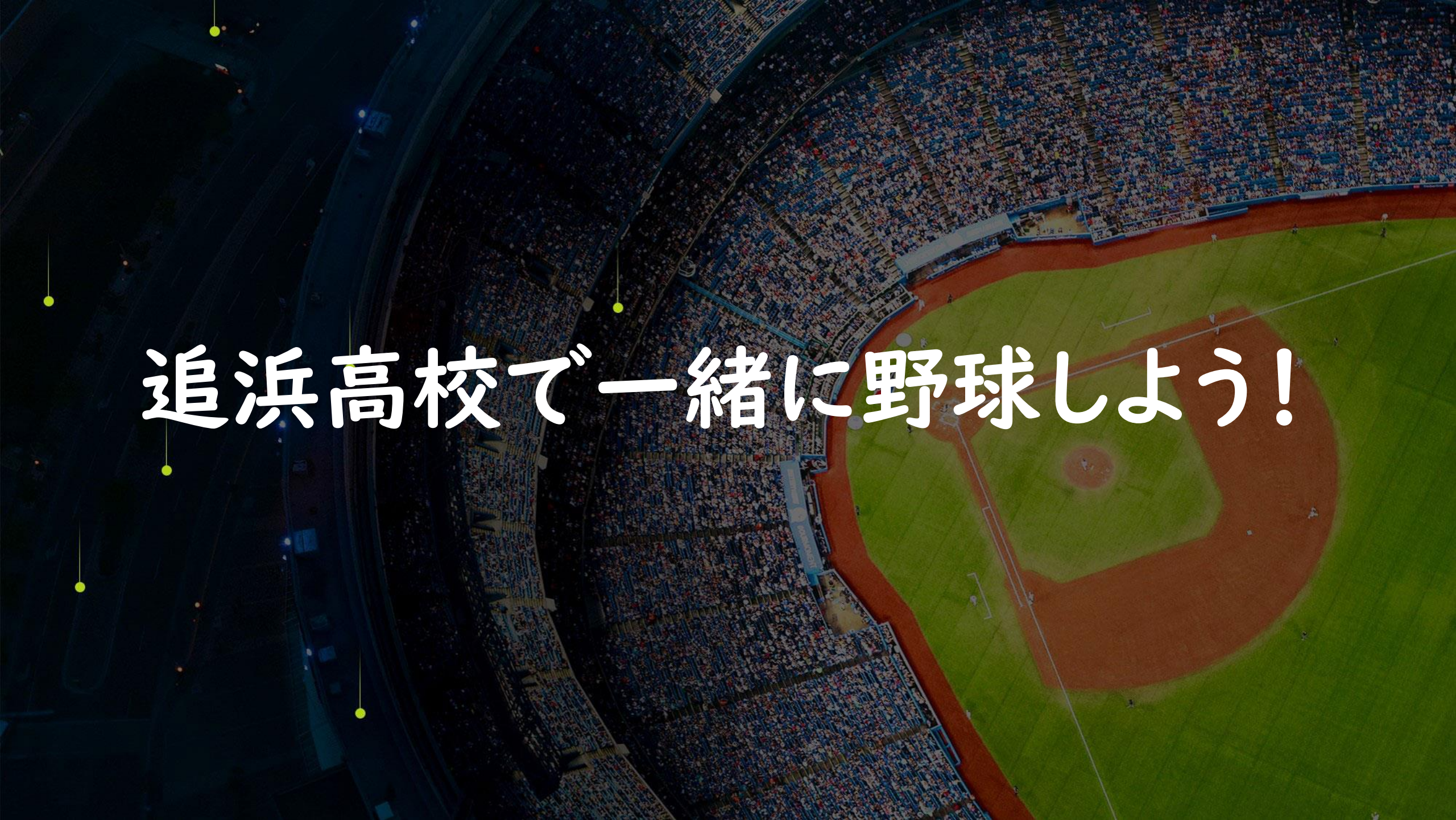
追浜野球部の魅力はなんと言っても、チーム全員が家族のように親しく和気あいあいとしているところです。厳しい上下関係がなく、自分の力を出し切る環境が揃っています。

メニューがある程度自由に決められて弱点を多めに練習することができる。そして土日には毎週試合があり練習したことが試せるのでとても恵まれた環境だ。と思う。

グラウンドが本当に広くて、他部活が同時に使っても練習出来ます。練習環境もよく、公立校で野球の環境がここまで整っているのはかなり少ないと思います。

トレーナーからバッティングのドリルを教えていただき、バッティングが特によくなったところ。自分の課題に合わせて練習に取り組める。ところ。

自分たちで部活動を運営しているので、話し合う時間が多いけど、メンバーを決めたり、サインを出して勝てる。ところが楽しい。と感じる。

An aerial, high-angle view of a large baseball stadium at night. The stadium is filled with spectators, and the field is brightly lit. The infield is a reddish-brown color, and the outfield is green. The stands are packed with people, and the overall atmosphere is vibrant. The text "追浜高校と一緒に野球しよう!" is overlaid in the center of the image.

追浜高校と一緒に野球しよう!

2025年・野球部説明会及び練習試合見学のお知らせ

現在中学生の皆さまへ

追浜高校野球部では、以下の日程で部活動の説明会と練習試合の見学を実施します。

予約は不要ですので、遠慮なくお越しください。雨天等の中止の場合は、本校野球部の以下のSNSで発信いたします。また本校野球部では、活動の様子をインスタやX(旧Twitter)で発信しています。ご興味のある方は、ご覧ください。

日時	集合場所	練習試合・対戦校
2025年8月3日(日)12時	追浜高校グラウンドバックネット裏	関東学院高校
9月13日(土)12時	//	当日は文化祭です。 野球部説明会の後は、 文化祭で学校の雰囲気をお楽しみください。
10月25日(土) 11時頃予定	追浜高校内・場所未定	当日は横須賀三浦地区の 学校と試合有り。 午前10時から学校説明会が行われます。その後に野球部の説明会を実施します。
12月6日(土) 11時頃予定	追浜高校内・場所未定	当日は練習のみ。 午前10時から学校説明会が行われます。その後に野球部の説明会を実施します。

本校野球部
インスタ用
QRコード



活動例：月間最優秀部員(Member of the Month)の選出

勝てる
チーム

応援される
チーム(人)

2024-2025シーズンのチームスローガン『Spontaneous～俺がやる!～』の浸透を目指して、月間最優秀部員(Member of the Month)を部員投票で選出しています。
チームスローガンを定着させ、より魅力的な部活動になるように、全員が切磋琢磨しています。

